

# 「安全なくして成長なし」をモットーに活動を展開し、安全で確実な輸送の実現を目指す

## 株式会社渡辺産業

●静岡市清水区

常に顧客の視点での物流サービスを提供している株式会社渡辺産業では「安全なくして成長なし」を基本方針に、ドライバーが働きやすい環境づくりを行うとともに、積極的な事故防止活動を展開している。

同社の交通事故防止活動等について、渡辺専務取締役、帯金統括営業管理本部副本部長にお話を伺った。



帯金 直希さん  
統括営業管理本部  
副本部長



渡辺 英之さん  
専務取締役

### 安全管理委員会および安全ミーティングを実施

同社の事故防止の根幹となっているのが安全管理委員会である。各部署の管理職を中心に選ばれた代表者が月に1度、事故報告をはじめ、クレーム処理、今後の安全活動などを話し合う。

「現在、ここで話し合わなければならぬ重大事故は発生していません。そのため、安全管理委員会では、ミスをいかに防ぐかを議論する場になっています」（渡辺専務）。

ここで決められた事項は、管理者を通して個々の部署の朝礼で発表され、周知徹底が図られている。

一方、ドライバーに対しても同様の取り組みが行われている。それが安全ミーティングである。同社の車両にはドライバーレコーダーが全車に搭載されているが、その映像からヒヤリ・ハット場面を抽出し、月に1度ドライバーが集まり、ヒヤリ・ハット事例の共有化および安全意識の高揚を図っている。

ヒヤリ・ハット事例から、事故につながる要因を学ぶとともに今後どのような

## 株式会社渡辺産業

### 業 務 内 容

自動車部品や飲料原料の輸送業務を中心に、倉庫保管サービスや流通加工サービス等、総合物流事業を展開している。

また、近年ではパレットの汚れの蓄積、風雨による汚水の付着、害虫等の混入を防止するためのパレット洗浄業務にも力を入れている。



#### ●会社概要

設立：昭和52年

所在地：静岡市清水区蒲原新田2丁目26番6号

従業員数：約90名

車両台数：60台

運転をするかを参加者で話し合う。

「安全管理委員会は管理者向け、安全ミーティングはドライバー向けと、管理者とドライバーの両者の意識向上に努めています」（渡辺専務）

### ダイヤ表を用いて きめ細かい運行管理を実施

同社では、ダイヤ表を用いて運行管理を行っている。これを見ると、どの車両が何時にどこを出発し、今どこを走行し、何時に目的地に到着するかなどがひと目でわかる。

ドライバーにとっては、時間がきちんと決まっていると却ってプレッシャーを感じると思われるが、帯金副本部長はむしろドライバーに無理をさせないための制度であるという。

「もちろん、時間的に余裕のある計画を立てており、通常であれば問題なく到着できるよう設定しています。また、交通渋滞や事故など、異常事態が発生した場合に、交替運転者の手配など、適切なバックアップ体制を構築するためのものです」（帯金副本部長）

### 事故の様子を再現するไปด้วย 原因を徹底究明する

同社では、万一、事故が起こった場合は、敷地内で、当事者、管理者が立会い、事故時の様子を再現し、事故原因を徹底的に究明する取組みを行っている。

渡辺専務は「事故が起こると、事故原因を確認不足で終わらせることが多々あります。しかし、それでは真の事故原因にたどり着くことはできません。安全確認不足がなぜ起こったのかを解明すること

が、事故現場再現の狙いです」という。以前、バック時に顧客の事務所の壁に接触した事故が発生した際も、事故の様子を再現した。その結果、ドライバーはいつもよりも事務所の外壁に近づきすぎている感覚があったが、大丈夫だと思いきや、安易にバックしたことが判明した。

「事故をさまざまな角度から分析した結果、事故再発防止策として、①駐車する場所での障害物の位置を確認、②障害物に近づかない方向での後退、③補助ミラーを取り付け、上下の死角を減らす、④安全確認の徹底、⑤他車の接近など気持ちに焦りを生じさせる状況では、他車をやり過ぎすの5点を徹底するよう指導しました」（帯金副本部長）

### 安全大会を実施し、 意識を高める

「成長の入口は安全から」を標榜する同社では、毎年12月に全従業員が参加しての安全大会を実施し、意識向上を図っている。

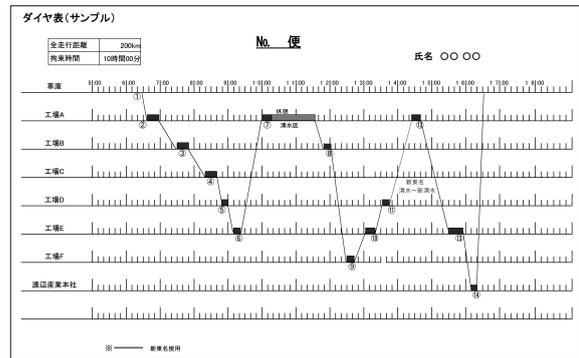
大会の主な内容は、渡辺専務による会社の現状・業績や今後の展望などのほか、関係の深い企業の担当者による講演などである。前回は同社の車両が装着してい



▲事故発生時の様子を再現し、事故原因を究明（写真は落下事故の原因究明の様子）



▶ドライバーを対象とした安全ミーティング



▶ 運行管理の要となるダイヤ表

るタイヤメーカーの担当者が講師となり講習を行った。

「安全運転に欠かせないタイヤの摩耗状況のチェックポイントや適切な空気圧などの話を中心とした。不適切なタイヤではどんな危険があるかなど、全従業員がタイヤに関して見識を深めることができました」（帯金副本部長）

その後、各課の責任者がそれぞれ安全宣言を行い、来年に向け決意を新たにしました。

**ドライバーにより環境を提供することが事故防止につながる**

同社の車両には、信頼のおける大手メーカーの高度な性能のタイヤが装着されている。それには、渡辺専務の哲学が反映されている。

「ドライバーにとってタイヤは、大工というならばカンナのように大切な道具（パーツ）です。そこをおざなりにすれば、よい仕事はできないと考えます。そのため、ドライバーにはできる限りよい道具を提供するよう心がけています。高度な性能のタイヤを装着させているのもそういう理由からです」（渡辺専務）

渡辺専務の思いはドライバーにも十分伝わっており、士気向上にもひと役買っている。帯金副本部長はいう。

「荷役作業などで降車した際、他のドライバーから羨望のまなざしで見られることが多々あるようです。また、いい道

具を使っているからこそ、安全運転をしなければならぬという意識につながっています」（帯金副本部長）

このほか、帯金副本部長はドライバーが働きやすいよう自ら積極的に声をかけていき、コミュニケーションを図ることを心がけているという。

「こちらから積極的に話しかけていくことで、ドライバーとの信頼関係も生まれ、運行経路上での事故やヒヤリ・ハットなどの情報が挙がってくるようになります。一方、ドライバーも職場に迷惑はかけられないと、安全運転の励行に努めるようになります。それが『絶対に事故を起こさない』という意識づけにもつながっています」（帯金副本部長）

**危険箇所マップ等の掲示物で、安全意識の高揚を図る**

同社では重大事故発生地点や走行時注意が必要なところをマップに落とし、危険箇所マップとして事務所の入口に掲示している。

「県警のHPの事故多発マップを参考に作成しました。重大事故が発生しているところは赤、走行時注意が必要なところは黄色と色分けしています。これらの地点付近を通行するドライバーには、しっかりと安全確認を行い、慎重な運転をするよう指導しています」（帯金副本部長）

また、スローガンや安全訓示も社内

# 安全運転管理の 現場から



▲玄関に表示されている危険箇所マップ(一部抜粋)



▲安全意識向上を図る安全大会



▶スローガンや安全訓示などは、社内が目立つところに掲示



▲大型増トン車(上)と高床トレーラー(下)。ドライブレコーダーはもちろん、高度な性能のタイヤを装着



▲安全大会でのタイヤメーカー担当者による講義

目に付きやすい数箇所に掲示されている。現在掲げられているスローガンは「安全確認+1秒」である。

これはしっかり安全確認したつもりでも、万一の見落としがあるため、さらにじっくり時間をかけて安全を確認しようというものである。

このほか、スローガンのすぐそばに掲げられている安全訓示は「見せてヨシ!! 見られてヨシ!!」の安全活動!!」である。

渡辺専務は「誰が見ても安心・安全だと思われる活動や運転こそが真の事故防止につながると思っています。常に人の目を意識して、恥ずかしくない行動をとるよう指導しています」と思いを語る。

**ISO39001を取得し、社を挙げて事故防止に取り組む**

同社では、2016年9月にISO39001を取得した。ISO39001とは、交通死亡事故・重傷事故をゼロにするためのマネジメントシステムである。同社ではその基本方針として「交通事故ゼロを希求して、全員が知恵を絞り、共創していく物流企業に日々進化して、お客様からの多様なニーズへの対応力を強化する。そのために、ISO39001の規格要求事項への適合、RTSMS(ロードトラフィックセイフティマネジメントシステム)の継続的改善に取り組む」として、各活動に取り組んでいる。ISOの取得については、まずISO

9001を取得した。

ISO9001は、製品やサービスの品質保証を通じて、顧客満足向上と品質マネジメントシステムの継続的な改善を実現する国際規格であるが、まずISO9001を取得した理由を渡辺専務は「当社は、輸送のほかに保管、検品、荷役などの業務も請け負っています。これらの業務では、サービスの質の向上が不可欠だからです。ISO9001を取得するために学んだPDCAの行い方、記録の取り方などは、今回のISO39001の取得にも大いに役立ちました」と語った。

**「安全なしに成長なし」を基本理念に活動を展開する**

最後に、お二人に今後の方針などについて伺った。

「これからも、従業員とのコミュニケーションを図り、彼らが誇りを持って働ける環境整備に力を入れていきます」(帯金副本部長)

渡辺専務は「従業員は家族の一員と考えています。家族全員が幸せになるためにも、業績のみを追求するのではなく、今後も『安全なくして成長なし』を基本理念に、必要な投資は惜しまず、積極的な安全活動を展開していきます。そして、交通事故が少しでも減らせるよう、従業員一同、頑張っていきます」と締めくくった。